

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月23日(2021.12.23)

【公開番号】特開2021-166831(P2021-166831A)

【公開日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2021-051

【出願番号】特願2021-117703(P2021-117703)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月12日(2021.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機において、

遊技の制御を行う遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信された制御情報に基づいて演出を行う演出制御手段と、
遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記導出操作手段の操作態様を識別可能に報知することができる操作態様報知手段と、
前記導出操作手段への操作を検出する検出手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、
前記事前決定手段の決定結果が報知の対象となる報知対象結果となつたときに遊技者にとって有利な有利操作態様が報知される報知状態に制御する報知状態制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果に関する特定制御情報を前記演出制御手段に対して送信する特定制御情報送信手段と、

一定間隔毎に定期処理を実行する定期処理実行手段と、

定期処理において前記検出手段の検出状況を取得する検出状況取得処理を実行する検出状況取得処理実行手段と、

複数回の検出状況取得処理により取得した検出状況により前記導出操作手段の操作の有無を特定可能な検出データを作成する検出データ作成手段と、
を含み、

前記特定制御情報送信手段は、前記報知状態に制御されているか否かに関わらず、前記事前決定手段の決定結果が前記報知対象結果となつたときに、前記報知対象結果となつた旨は特定できるが前記有利操作態様を特定できない前記特定制御情報を前記演出制御手段に対して送信し、

電力供給の開始後、最初に定期処理が実行されるまでに検出状況取得処理を少なくとも1回実行する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

この種の遊技機においては、複数種類のスイッチ類を備え、各スイッチ類の検出状況を判定するタイミング毎に、入力ポートに入力される各スイッチ類の検出信号の状態を複数のタイミング分用いて各スイッチ類の検出状況を特定することで、ノイズなどの影響を排除するようにしたものが提案されている（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1においては、スロットマシンへの電力供給が停止される電断が生じた後、電力供給が再開されて電断から復帰した際に、各種スイッチ類の信号の入力状況を特定する複数回の割込処理が、電断の前後に跨ることとなった場合に、電断前の信号の入力状況と電断から復帰した後の信号の入力状況との相違によって意図しない入力状況が特定されることで誤作動する虞がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたものであり、意図しない検出状態が特定されてしまうことを防止できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機において、

遊技の制御を行う遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信された制御情報に基づいて演出を行う演出制御手段と、遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記導出操作手段の操作態様を識別可能に報知することができる操作態様報知手段と、前記導出操作手段への操作を検出する検出手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、前記事前決定手段の決定結果が報知の対象となる報知対象結果となつたときに遊技者にとって有利な有利操作態様が報知される報知状態に制御する報知状態制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果に関する特定制御情報を前記演出制御手段に対して送信する特定制御情報送信手段と、

一定間隔毎に定期処理を実行する定期処理実行手段と、

定期処理において前記検出手段の検出状況を取得する検出状況取得処理を実行する検出状況取得処理実行手段と、

複数回の検出状況取得処理により取得した検出状況により前記導出操作手段の操作の有無を特定可能な検出データを作成する検出データ作成手段と、

を含み、

前記特定制御情報送信手段は、前記報知状態に制御されているか否かに関わらず、前記事前決定手段の決定結果が前記報知対象結果となったときに、前記報知対象結果となつた旨は特定できるが前記有利操作様式を特定できない前記特定制御情報を前記演出制御手段に対して送信し、

電力供給の開始後、最初に定期処理が実行されるまでに検出状況取得処理を少なくとも1回実行する。

手段1の遊技機は、

遊技を行う遊技機（スロットマシン1）において、

第1の検出手段（確定データが用いられるスイッチ類）と、

第2の検出手段（エッジデータが用いられるスイッチ類）と

前記第1の検出手段の検出状況を第1の検出情報（確定データを含むデータ）を用いて判定する第1の判定手段と、

前記第2の検出手段の検出状況を第2の検出情報（エッジデータを含むデータ）を用いて判定する第2の判定手段と、

前記第1の検出情報（確定データを含むデータ）及び前記第2の検出情報（エッジデータを含むデータ）が格納される格納手段（ポート入力バッファ0～2）と、

を備え、

前記格納手段には、前記第1の検出情報が前記第1の判定手段の判定に用いられる態様（確定データ、of fエッジデータ）で格納され、前記第2の検出情報が前記第2の判定手段の判定に用いられる態様（第1の検出情報の態様が確定データに対してエッジデータ第1の検出情報の態様がon nエッジデータに対してof fエッジデータ）、で格納される、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第1の判定手段と第2の判定手段では、異なる態様の第1の検出情報と第2の検出情報が用いられるとともに、格納手段では、第1の検出情報については、第1の判定手段において判定に用いられる態様で格納され、第2の検出情報については、第2の判定手段において判定に用いられる態様で格納されることにより、第1の検出情報及び第2の検出情報について、各検出手段の種類にかかわらず一律に同じ態様で格納されることがなく、検出状況の判定に用いられることがない態様で格納されないため、格納手段に格納される検出情報の容量を削減することができる。